

騒音計

取扱説明書



QRコードをスキャンして取扱説明書をダウンロード



使い方のチュートリアルビデオ

助けが必要な場合お問い合わせください

www.cd50.net/m390/

使用目的について

このたびは、SLM-390をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読み頂いた後も大切に保管してください。

商品特長

- 測定範囲: 30~130dB。
- A/C/Z周波数重み付けの選択とFAST/SLOW時間重み付けのオプションが含む
- データホールドおよびMAX/MIN/AVG測定機能付
- データのダウンロードとリアルタイムPC接続をサポートし、データシートとチャートを表示します。データシートとチャートのエクスポートと印刷が可能。PCソフトウェアはWin7 Win8、Win10と互換性があり
- 上限値と下限値を別々に設定することが可能
- 聴覚および視覚警報あり
- アナログバースケール表示および低電力警告機能

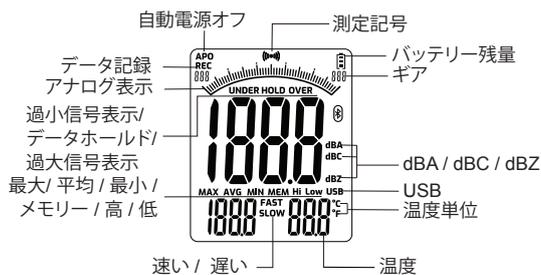
規格

マイクロフォン	高精度1/2インチマイクロフォン
範囲	30~130dB
測定レベル	30~70dB、60~90dB、80~110dB、100~130dB
分解能	0.1dB
精度	±1.5dB (音圧基準、94dB@1kHz)
周波数重み付け	A/C/Z重み付け
時間重み付け	0.125秒、SLOW: 1秒
サンプリングレート	2回/秒
周波数応答	31.5Hz~8kHz
アナログバー	1スケールが1dBを表します
画面表示	4桁、最大1999
周囲温度	範囲: 0~60°C、精度: ±2°C
オーバーレンジ	"OVER-HI"、"UNDER~LO"
データロガー	1999グループ
同期更新	プログラムの更新についてはPC情報を参照してください
自動電源オフ	15分 (キャンセル可能)
作業環境	-10~50°C、最大80%RH、屋内の高度: <2000m
保存環境	-10~50°C、最大70%RH (バッテリーを取り外した状態)
製品サイズ	229 x 70 x 35mm
画面サイズ	53 x 44mm
重量	約215g (バッテリー抜き)
電源	単4形 1.5V アルカリ乾電池 (LR06) ×3本 Type-Cマイクロインターフェース 5V

機器の説明



画面表示



ボタン機能説明

- 電源ボタン**: ボタンを押して電源をオン/オフできます
注意: USB経由で給電されている場合、手動でシャットダウンすることはできません
- REC**: 2秒間押し続けて記録を開始/停止できます
記録中に押すと一時停止または記録の継続できます
- RANGE**: 測定範囲を30~70dB、60~90dB、80~110dB、100~130dBの間で切り替えられます



ボタンを押して時間重み特性のFASTとSLOW切り替えられます



ボタンを押してMAX/MIN/AVGモードを切り替え、数値をサブウィンドウに表示できます

設定モードでは、短押しで値が減少し、長押しして高速調整できます

注意: ボタンを押す瞬間から 値が計算されます。



ボタンを押してA/C/Zの重み付けを切り替われます
ボタンを2秒間押しして温度単位を切り替えられます
設定モードでは、短押しで値が増加し、長押しして高速調整できます



ボタンを押して現在の測定値を保持/解除できます
2秒間押しして設定モードに入り/終了できます
設定モードでは、ボタンを押してアラーム上限/下限の設定、機器の記録間隔の設定、保存データの表示、

設定モード

1. 上限アラーム設定

計測モードで ボタンを長押しして上限アラーム設定に入り、デフォルト値は130dBになります。 または ボタンを押してアラーム値を調整でき、 ボタンを押して確認し、次の設定に進みます。

2. 下限アラーム設定

デフォルト値は30dBになり、 または ボタンを使用してアラーム値を調整でき、 ボタンを押して確認し、次の設定に進みます。

3. 機器の記録間隔の設定

デフォルトは5秒になり、 または ボタンを押して所望の記録間隔を選択できます。 ボタンを押して確認し、次の設定に進みます。

4. 機器に保存されたデータを表示

「MEM」シンボルが表示され、下部に記録されたグループが表示されます。 または ボタンで記録を切り替えられます。 ボタンを押して確認し、終了します。

注意: このメニューでは、同時に + ボタンを2秒間押し続けると保存されたデータをクリアできます。

自動電源オフ機能を無効化

自動電源オフ機能はデフォルトで有効になっており、機器がオンになると画面に **AP0** 記号が表示されます。15分間の非アクティビティすると自動で電源を切れます。ただし、機器がUSBで給電されている場合、自動電源オフが有効でも、機器は自動的に電源を切れません。

自動電源オフを無効にするには:

機器を起動する前に、 ボタンを押し続け、 ボタンを同時に押して、画面にAPo OFFアイコンが表示するまで押し続けてください。自動電源オフ機能を無効にした後、**AP0** 記号が消えます。

データロギングとPCインターフェース

1. データ記録の種類

ソフトウェアにデータを記録: ソフトウェアにデータを自動的に記録し、データポイントの数に制限はありません。

機器にデータを記録: プッシュボタンを押すことで、メーターに最大**1999**回の測定値を自動的に記録します。

2. ソフトウェアにデータを記録

a. ソフトウェアをインストール: QRコードまたは以下のURLから無料でEnvironmentalTesterソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

QRコードをスキャン:

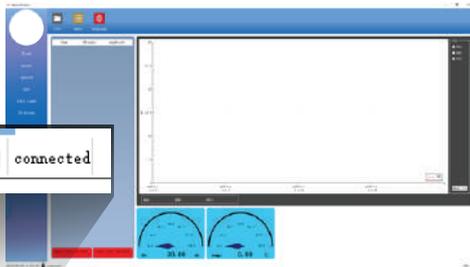


www.cd50.net/m390/

b. EnvironmentalTesterをダブルクリックして開く: USBケーブルを使用して騒音計をパソコンに接続してください。ソフトウェアのインターフェースが以下のように表示され、使用準備が完了と示します。

注意:
使用準備が整ったら、
「Connected」と表示されます

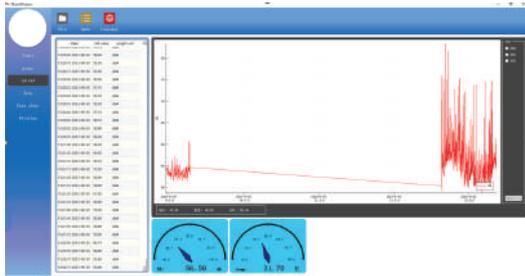
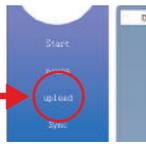
2023/08/30 11:02:49  connected



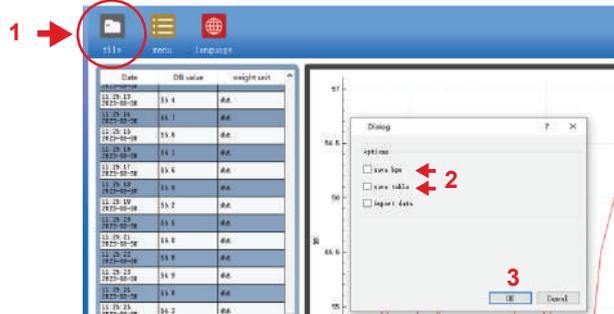
4

3. 3. 機器にデータを記録

- 所望のサンプリングレートを設定してください(設定モード-セクション3を参照してください)。
- 2秒以上  ボタンを長押しして記録を開始/停止できます。記録モードではRECシンボルが点滅します。
- ソフトウェアを起動し、その後騒音計をパソコンに接続してください。
- 「Upload」をクリックし、数秒待ってください。機器に保存されたデータポイントがソフトウェアに同期されます。

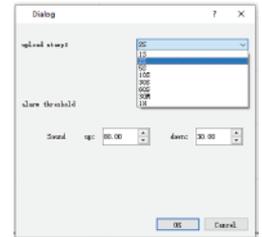


e. データポイントをエクスポートするには、ソフトウェアの上部にある「file」ボタンをクリックし、bpm/table形式で保存するように選択してください。



6

c. パラメータの設定: ソフトウェアの上部にあるメニューボタンをクリックしてください。ダイアログウィンドウが表示され、サンプリングレートとアラーム閾値を設定できます。OKをクリックして選択内容を確定してください。使用可能なサンプリングレートは: 1秒、2秒、5秒、10秒、30秒、60秒、30分、および1時間。

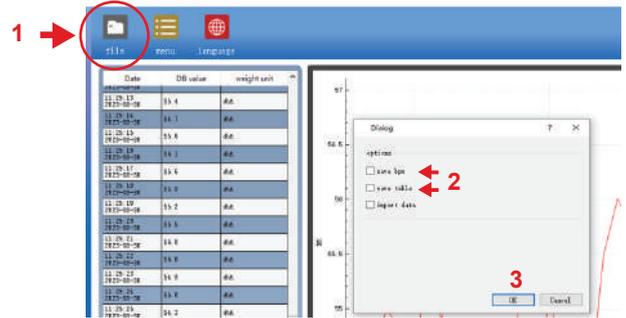


注意: ここで指定されたパラメータは、ソフトウェアシステム内でのデータ記録のために構成され、機器と自動的に同期するようには設定されていません



d. ソフトウェアの左側にあるStart / pauseボタンを押してリアルタイムの記録を開始/停止できます。

f. データポイントをエクスポートするには、ソフトウェアの上部にある「file」ボタンをクリックし、bpm/table形式で保存するように選択してください。



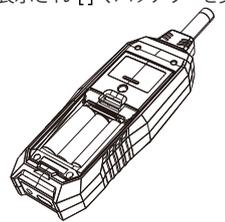
重要!!

ソフトウェアで記録されたリアルタイムのデータポイントの損失を防ぐためには、プログラムを終了する前や機器に保存されたデータポイントをアップロードする前に、それらをエクスポートする必要があります。さもないと、ソフトウェア内で記録されたすべてのデータポイントが削除されます。

5

電池の交換

- バッテリー残量が少なくなると、空のバッテリーアイコンが表示され 、バッテリーを交換する必要があることを示します。
- 電池を交換するには、次の手順に従ってください。
 - 電池室のカバーを取り外します。
 - 新しい単三電池 3 本交換します。
 - 新しい電池を電池室に入れるときは、電池の極性に注意してください。
- 交換後は電池室カバーを確実に締めてください。



お手入れ

高温多湿環境での長時間の測定は避けてください。機器を長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。機器が故障し、修理が必要であることがメーカーまたはディーラーによって確認された場合は、故障の説明と梱包リストを書面で提出してください。商品を保護するためにしっかりと梱包してください。

7